



小中一貫教育だより



小中一貫教育とは、義務教育の9年間を通して、子どもがすこやかに成長することを願い、練馬区の全学校が実施している取り組みのひとつです。中学校を中心に周辺小学校がグループ校になります。向山小学校は開進第二中学校と南町小学校と一緒に様々な教育活動を実施しています。

15歳で目指す生徒像 ～小中が一貫して目指す生徒像～

- 1 基礎学力が定着し、生涯にわたって主体的に学び続けることができる生徒
- 2 夢や理想の実現に向け、自尊感情や自己肯定感を高め、努力を惜しまない生徒
- 3 自他を大切にし、進んで人のために行動できる生徒

校区别協議会

小中乗り入れ授業や人権に関わる授業発表を行い、協議します。また、生活指導や学習指導に関する情報交換を行います。
(年2回実施)

課題改善カリキュラム

人権教育の課題改善について、3校共通の一覧表を作成します。校区别協議会で評価を行います。



家庭学習アンケート

家庭での学習の実態状況を各小中学校での(小5～中3)で調査し、考察・評価します。(年2回実施)

小中交流

部活動体験や生徒会訪問、中学校合唱コンクールなどの子ども同士の積極的な関わりをつくります。

3校合同研修会

3校の教職員が、人権に関するフィールドワークや講習会等を行い、研修と連携を深めます。

例年行っている取り組み

校区别協議会・家庭学習アンケート・3校合同研修会・部活動体験・小学校における聞こえの授業